



日本プライマリ・ケア連合学会
東北ブロック支部 活動報告

発行人 矢島恭一
支部長 矢島 恭一(上田診療所)
事務局
〒999-8162 山形県酒田市上曽根字上中割73
TEL 0234-27-3306 FAX 0234-27-3308
mail:k-yajima@sea.plala.or.jp

東北ブロック支部幹事会の報告

日本プライマリ・ケア連合学会 東北ブロック支部幹事会

平成26年4月26日(土) 14時30分から

ホテルメトロポリタン仙台 4階 萩西

出席：葛西龍樹 加藤博之 菅家智史 坂戸慶一郎 長野正裕

長谷川仁志 星野智祥 千葉 大 矢島恭一 (敬称略)

欠席：川村 実 濃沼信夫 本郷道夫 川島孝一郎 (敬称略)

協議事項

1) 本部から毎年交付される支部活動活性化助成金(約55万円)をどのように使うか東北ブロック支部学術集会に、約半分を補助金として支出してよいのではないだろうか。その他各県単位で行われる集会を支援するため少額でも拠出していきたい。これまで実績がないので、現時点では、申請のあったものについて判断を支部長に一任させて頂く。

2) 県単位(県支部)の設立にはどのような対応をすれば良いか
これについては、この後開催される第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会の特別企画4「支部活動の活性化と地域・社会への貢献」の中で議論されることになっているので、その後検討する。
青森県では、学会員を問わず12~13名の方が集まったことがあるとの報告がなされた。宮城県でも集まる動きはあるが、それが即県支部となるのかどうか検討を要する。

3) 本年度学術集会について(準備状況について)長谷川先生から別紙の通り進んでいるが、本幹事会での意見を反映させたい。特に今年度は、多職種との連携を取り上げるので、多方面に呼びかけを行っているとの報告があった。

4) その他

- ・規約の確認 昨年の幹事会で確認承認された件につき文言を確認させて頂いた。

第4回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会について

第4回 日本プライマリケア連合学会 東北地方会 プログラム案

日時 2014年 9月6日～7日

場所 秋田大学医学部

対象：すべての医療従事者、学生

後援予定：秋田県医師会、秋田県看護協会、秋田県薬剤会、秋田県歯科医師会、秋田県健康福祉部、他介護・福祉関係

みんなで進めよう！東北の地域包括ケアを！

－多職種連携 (Interprofessional education) から

職種を超えた連携教育(Transprofessional education) へ－

【9月6日 午前】 案

プレ企画 9時30分～12時

【すべての医療従事者が共有しておくべき主要症状に対する病歴・フィジカルアセスメント・臨床推論の基本ポイント】
＜シミュレーショントレーニング＞

【9月6日 午後】

開会式 13時30分～ 地域ケアに携わる医療人大集結 in 東北

14:00～14:30

【基調講演】

仮題 世界最高齢社会・日本を支える これからの地域包括ケアの質と連携の向上のための

日本プライマリケア学会の展開

丸山 泉 日本プライマリケア連合学会 理事長

14:30～シンポジウム1. 案

【みんなで東北の実情に合った地域包括ケアの質と連携の向上の課題と展開を考える】

－がんのケアと高齢者/認知症の地域包括ケア－

16時～シンポジウム2. 案 <地域包括ケアの質と連携の向上のための企画2>

【世界が注目する世界最高齢社会・東北の医療者教育・研修・生涯教育と地域包括ケアの在り方】

【9月7日 午前】シンポジウム3 案 <地域包括ケアの質と連携の向上のための企画3>

【1. 地域包括ケアの質と連携の向上のための

症例事例ベースですすめる多職種事例検討会とそのエッセンス】

【2. 地域包括ケアの質と連携の向上のための各分野・各種シミュレーショントレーニング企画】

【特別講演】 東北大学医学部保健学科家族支援看護学講座 宮下光令教授

自分らしく生きる 望ましい死 (死に方は市民講座向けではない?)

緩和ケア、good deathのアンケート結果

ポスターセッション

研修プログラム紹介 プライマリケアに関する自由演題?

青森 4施設、岩手 3、秋田 1、宮城 4、山形 2、福島 2 合計 16施設

なお上記については、時間等に変更がある予定です。詳細については、近々正式の案内があります。

お願い：このように定期的にニュースレターが、本部より学会誌と一緒に配送されますので、会員に知らせたい連絡事項、報告事項などがございましたら私までお送り下さい。